



2018年(平成30年)

9月7日

(金曜日)

発行所 電波新聞社  
東京本社  
〒141-8715  
東京都品川区東五反田1-11-15  
◎03(3445)6111(大代表)  
大阪本社  
〒541-0045  
大阪府中央区道修町3-2-6  
(ウエムラビル4階)  
◎06(6203)3361(大代表)  
©電波新聞社 2018

産機・設備

運搬機器の位置を検知

ユーエイキャスタが新製品

通信・電機  
発機

キャスタおよび関連

機器の開発・製造・販

売などを手がけるユー

エイキャスター(大阪

府東大阪市、雄島耕太

社長)は、物流現場で

のIoTソリューション

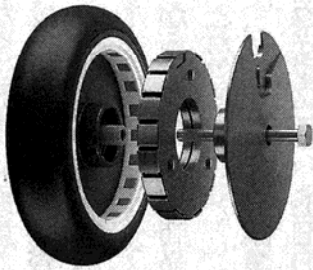
の一環として、運搬

機器の位置を検知する

機能を持ったキャスタ

を開発、国際物流総合

展2018(11-14日)



「発電・センサキャ  
スター」

に参考出品する。

新製品の「発電・セ

ンサキャスター」は、

キャスタメーカーでは

業界初の発電・通信機

能を持たせたもので、

発売は19年度中を予定

している。販売目標は

20年度カート5千台

分。

新製品は、走行時の

回転によって発電する

エナジーハーベスティ

ング技術(環境発電技

術)を採用、電池交換

も不要なバッテリース

構造となっている。

自転車ライトなどで

も使われるダイナモ発

電と同様に、電磁誘導

コイルとマグネットを

利用し、キャスタの回

転によって電気をつく  
り出す。

発電キャスタをベ

ースに、通信機能(試作

はEnOcean無線

モジュール)を顧客要

望でカスタマイズでき

るよう設計する(ブル

ートゥースやICタグ

などを入れることも可

能)。

位置情報を検知する

測定器は従来、電池が

必要だったが、キャス

タで発電することで電

池メンテナンスが不要

となるため、大量の運

搬機器を使用する施設

・工場などでは、稼働

状況をモニタリングす

るためのIoT普及に

つながる。

販売先は、台車やカ

ートなどの運搬機器メ

ーカーや機械、電材商

社としている。